

# 病院事業会計決算

患者数は入院が1日平均65人、外来は178人で医業収益は約17億6千万円となっています。

これに対する医業費用は職員106人の給与費や薬品費、光熱水費などが主な支出で約19億8千万円となり、差引で約2億円の医業損失となりました。

当年度純利益は約1億3千万円の赤字となりましたが、これは一般会計からの補助金として2億9千万円を医業外収益として計上したことによるものといえます。

平成23年度は、平成23年6月11日(土)から内科、小児科、小児外科において、土曜日の外来一般診療を行うとともに、総合健診センターにおいても、土曜日の特定健診や人間ドックなどの健診業務を開始し、平日受診が困難な人にも対応できるようにし、安心・安全な地域医療の提供体制の構築に努めました。

さらに、訪問看護ステーションにおいては、平成23年6月1日(水)から365日・24時間体制による在宅での療養・介護をサ

## 平成23年度病院事業損益計算書

① 医業収益		17億6,259万円
内訳	入院収益	9億4,403万円
	外来収益	4億2,241万円
	その他医業収益	3億9,615万円
② 医業費用		19億7,909万円
内訳	給与費	13億1,895万円
	材料費	1億6,835万円
	経費	3億9,928万円
	減価償却費	8,685万円
	資産減耗費	410万円
	研究研修費	156万円
医業損失(①-②)		2億1,650万円
③ 医業外収益		3億8,658万円
(うち、一般会計からの補助金)		2億9,000万円
④ 医業外費用		3,471万円
経常利益(医業損失+③-④)		1億3,537万円
⑤ 特別利益		0円
⑥ 特別損失		131万円
当年度純利益(経常利益+⑤-⑥)		1億3,406万円
前年度繰越欠損金		3億3,704万円
当年度未処理欠損金		2億0,298万円

1万円未満の端数については調整しています。

一般会計からの負担金・補助金の合計額は5億7千万円でした。

ポータルし、利用者数の増加を図りました。  
問合せ/経営改革課  
☎(472)9211

## 市民病院患者数

### 入院

	平成22年度	平成23年度	比較増減
総数	21,238人	23,927人	2,689人
1日平均	58人	65人	7人

### 外来

	平成22年度	平成23年度	比較増減
総数	64,373人	64,987人	614人
1日平均	176人	178人	2人

### 入院(成人の志木市民)

	平成23年度	構成比
志木地区	2,991人	36.7%
宗岡地区	5,152人	63.3%
合計	8,143人	100.0%

### 外来(成人の志木市民)

	平成23年度	構成比
志木地区	6,752人	23.5%
宗岡地区	21,942人	76.5%
合計	28,694人	100.0%

成人における外来患者数は、平成23年度は全体で約3万5千人であり、このうち約8割が志木市民の利用となっています。

## 平成23年度水道事業損益計算書

① 営業収益		13億0,001万円
内訳	給水収益(水道料金など)	10億0,350万円
	その他営業収益(加入金など)	2億9,651万円
② 営業費用		9億6,362万円
内訳	浄水場の維持管理費	3億9,406万円
	浄水場以外の施設維持管理費	1億2,868万円
	総係費(検針業務費用など)	1億1,286万円
	減価償却費	3億2,457万円
資産減耗費		345万円
営業利益(①-②)		3億3,639万円
③ 営業外収益		843万円
内訳	受取利息及び配当金	773万円
	雑収益	70万円
④ 営業外費用		9,271万円
内訳	支払利息など	9,271万円
	経常利益(営業利益+③-④)	2億5,211万円
⑤ 特別損失		184万円
当年度純利益(経常利益-⑤)		2億5,027万円
前年度繰越利益剰余金		10万円
当年度未処分利益剰余金		2億5,037万円

1万円未満の端数については調整しています。

当年度純利益は、約2億5千万円で、2年連続の赤字となりました。  
事業収益 13億844万円  
(主な収益)  
・給水収益(水道料金など) 10億350万円

## 水道事業会計決算

また、1㎡あたりの水道水を生産するのに要する費用は144円90銭、一方、販売価格は137円66銭となり、差引7円24銭の赤字が生じています。  
問合せ/水道料金課 内線2713

その他営業収益(加入金など) 2億9651万円  
・営業外収益・特別利益(預金利息など) 843万円  
事業費用 10億5千817万円  
(主な費用)  
・浄水場の維持管理費 3億9406万円  
・浄水場以外の水道施設関係費用 1億2868万円  
・総係費(コンビニエンスストアでの納入や検針業務などの水道料金関係費用) 1億1千286万円  
・減価償却費など 3億2千802万円  
・営業外費用・特別損失(施設の建設改良などのために借り入れた借入金)の支払利息など 9千455万円